

疫学	2年・後期	2単位 30時間	教授 島田 昇
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32310442

1. 授業のねらい・概要

疫学は人間集団における健康状態とそれに関連する要因の頻度と分布を明らかにし、公衆衛生の発展を目指す分野である。今日では、保健・医療・看護の分野の基礎研究だけでなく、地域における実践活動においても疫学の知識が不可欠である。疫学的思考および方法を理解することで、人間集団の疾病の発生状況を把握し、それに影響を及ぼす要因や条件を包括的に探り、地域予防活動に応用するための基礎的能力を身につける。

2. 学修の到達目標

1. 疫学の基本定義について「健康」と「予防」を使用し述べることができる。(D-2)
2. 罹患率と有病率の違いについて説明できる。(D-5)
3. 人年法について説明することができる。(D-5)
4. 年齢調整死亡率の直接法と間接法の違いについて述べることができる。(D-5)
5. スクリーニングの目的について述べることができる。(D-5)
6. 機能的推理について3つ述べることができる。(D-5)
7. 症例対照研究の特徴を3つ述べることができる。(D-5)
8. オッズ比を計算することができる。(D-5)
9. コホート研究の特徴を3つ述べることができる。(D-5)
10. 相対危険度を計算することができる。(D-5)
11. 介入研究の特徴について3つ述べることができる。(D-5)
12. 因果関係の判断条件について4つ述べることができる。(D-5)
13. PDCAサイクルの4つの段階を述べることができる。(D-5)
14. 人口動態統計の5つの項目を述べることができる。(D-2)
15. 代表値について3つ述べることができる。(D-5)
16. 仮説検定について「有意水準」、「帰無仮説」と「対立仮説」の用語を使用し述べることができる。(D-5)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義と疫学に関する計算問題の演習を中心に進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、グループワークを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google classroomによる学習課題の提示。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	疫学の概念と歴史	講義	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第1章「疫学の概念	島田 昇

			と歴史」p1～12を読んでまとめる。 復習：講義内容の「疫学」について教科書を使ってまとめておくこと。	
2	疫学研究①	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第2章「疫学研究の種類」p7～18を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「研究の種類」，について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
3	疫学研究②	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第2章「疫学研究」p19～36を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「暴露指標の指標」，について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
4	疾病頻度の指標①	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第3章「疾病頻度の指標」p51～61を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「疫学指標の概念」，について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
5	疾病頻度の指標②	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第3章「疾病頻度の指標」p63～70を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「年齢調整（直説法と間接法）」，について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
6	保健統計調査①	講義	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第4章「人口動態統計，人口静態統計」p81～86を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「人口動態統計，人口静態統計」，について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
7	保健統計調査②	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第4章「死亡率・死産・乳児死亡」p87～101を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「各保健統計調査」の特徴について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
8	スクリーニング① (グループワークを含む)	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第5章「スクリーニング」p113～125を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：「敏感度・特異度」の特徴について教科書を使ってまとめておくこと。	島田

9	スクリーニング② (グループワークを含む)	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第5章「スクリーニング」p113～125を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「スクリーニングの計算方法」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
10	おもな疾患の疫学①	講義	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第6章「おもな疾患の疫学」p139～145を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「感染症の種類」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
11	おもな疾患の疫学②	講義	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第6章「おもな疾患の疫学」p146～151を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「おもな感染症の疫学」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
12	統計データの種類とグラフ	講義	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第7章「統計データの種類とグラフ」p163～164を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「統計グラフ」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
13	データの代表値 (グループワークを含む)	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第7章「データの代表値」p167～169を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「平均値・最頻値・中央値」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
14	データの散布度 (グループワークを含む)	講義 演習	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第7章「データの散布度」p170～172を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「平均値・最頻値・中央値」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
15	疫学で用いられる統計学の基礎 (検定と分析方法)	講義	予習：楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計，南山堂第7章「検定の考え方」p182～189を読んでおくこと。演習課題をClassroomで配信するので，ダウンロードして実施し本時までに紙面にて提出する。 復習：講義内容の「平均値・最頻値・中央値」について教科書を使ってまとめておくこと。	島田

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，演習課題（計算問題）30%で総合的に評価する。合格基準は60%以上とする。合格基準に満たない（60%未満）場合は、単位認定できない。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細については、第1回講義内で別途説明する。

演習課題（計算問題）について、課題の詳細、提出期限、提出方法（場所）は各講義内で紙面にて提示する。演習課題の様式についてはGoogle classroomにて配信する。演習課題は指定された期日まで実施し、該当する講義に紙面で持参する。紙面に基づいてグループワークを行う。

定期試験の出題範囲及び出題方法等は、講義内にて口頭で説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：浅野嘉延（2023） 楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計 南山堂

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲について最低90分以上の予習及び、授業内容について90分以上の復習を実施すること。

8. 受講上の留意事項

テキストの指定された範囲を熟読した上で授業に臨むこと。

日常的に新聞やニュースを通して、国の政策や予算など政治・経済・社会問題について知識を得ておくこと。

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。

講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び、医療機関での保健師としての勤務経験を活かして、講義を行う。